

UMC-Japanese Ministry  
11 Highgate Terrace  
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

## 新サーキットライダー 2009年 4月号



エルサレム聖墳墓教会壁画

**U**nited **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

The Church of The Good Shepherd New Bridge Road & South Prospect Avenue, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100, Parsonage: (201) 338-2744 Homepage: [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

## 復活祭：空の墓に思う

安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行く為に香料を買った。そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。ところが、目を上げてみると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここには折られない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペテロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおりに、そこでお目にかかれる』と。」

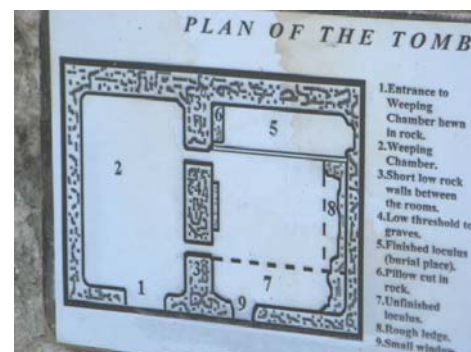
婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。(マルコ16:1-8)。

3月号に書きましたが2月にハーベスト・タイムの聖地旅行に参加しイスラエルに行きました。その折、あちこち回ったのは前回のサーキットでも、また説教や交わりの時など、事ある毎にお話ししていますし、これからはしばらくは聖地の話ばかりさせていただきそうで、聞かれる方は少々うんざりするかもしれません。しかしそれほど私にとって、と言うよりクリスチャンにとって聖地はインパクトを与える場所です。何しろアブラハムの約束の地であり、モーセとイスラエルの民の目指した地、ダビデがゴリアテと戦ったエラの谷、ソロモンが建築したエルサレムの神殿、イエス様が生まれ育ったナザレ、活動の拠点としたカペルナウム、また十字架に架けられたゴルゴダの丘や旧エルサレム城外のイエスが葬られた墓などなど、見るもの聞くもの全てが聖書に書かれているのですから。

さて上述のダビデ王がまだ少年だった頃、ペリシテ人の巨人兵士ゴリアテと一騎打ちをしたエラの谷は(サムエル記上17章)エルサレムから南へ小一時間下ったユダの山地の一角にあります。更にサムエル記上を読み進めますと、ダビデがイスラエルの初代の王、サウルに嫉まれ、追われて逃げ隠れする記述があります。ダビデはユダの山地からユダの荒れ野を彷徨い、洞穴に身を隠し、サウルの追手から逃げ続けました。ダビデ王やその後、イエス様の時代にイスラエルの反乱軍が身を隠したと言われている穴や洞窟が今でもあちこちに残っています。

聖地旅行の初日、正しくはエルサレムに夕刻つきましたので第二日目になりますが、私達はユダの山脈に行き、エラの谷の古戦場を見たり、それらの洞穴を見たりしました。更にそこでイエス様の時代の墓穴を見学しました。

当時の埋葬の風習ですが、一度遺体を墓に安置し、2年経って骨だけになったころ、骨を集め四角い骨壺に入れ、再度埋葬するというのが一般的でした。遺体を安置する時にもつ薬や香料を遺体に塗りました。イエス様の墓を訪問した女性達が香料を持っていたのはその為です。本来なら、亡くなった直後にもつ薬や香料を塗るのですが、イエス様が息を引き取ったのが、安息日の直前だった為、それをする時間がなかったからです。補足ですが墓地に遺体を安置できたのは、ある程度裕福な人々で貧しい人々や一般庶民は遺体を一度土葬し、2年後骨を採取して骨壺に入れたようです。イエス様の遺体は彼を慕っていたパリサイ派の議員であったありマタヤのヨセフが引き取ったので(マルコ15:42-43)、墓地に葬られたのです。



エルサレム、園の墓(ゴードンの墓地)見取り図

ユダの山地で、また後日エルサレムでもイエス様の時代の墓を見学しました。私達が入った墓は左室、右室の二間からなり正方形に近い長方形で、岩壁をくり貫くようにして作られていました。上述の園の墓の見取り図を参考にして下さい。入り口(1)は岩肌の正面に縦1メートル30センチ、横60~70センチに掘られた長方形の穴で、そこから左側の3畳半くらいの部屋(2)に入ります。そこが墓参りに来た人が立つ所です。その右側に同サイズくらいの遺体安置場があります(5~9)。(この大きさは裕福さによって異なるのであくまで目安です。)

遺体を安置する場所は、左側の部屋から見ると右の遺体安置室の左奥で、石のベッドのような感じに彫られています(5)。ベッドの回りには溝が掘られ、死に水や汚物が流れ出るようになっています。ベッドの手前の狭い空間で遺体を安置したり、骨を

拾ったりという作業をしました。入り口（1と3ページの復活祭案内参照）は直径1.5メートル、厚さ30センチ以上もある大きな丸い石で封印されます。遺体が野獣に食い荒らされたり、遺体と一緒に葬った物が盗まれない為と考えられています。私も試しにその丸石を押してみましたが、どっしりと重たく、とても一人では動かせないだろうと想像できました。尤も、私が触った石の蓋は固定されていたので、押しても引いてもどのみちビクともしませんが（笑）。

墓参りに行った女性達には「どうやって石を動かすか」は大きな難問でした。彼女達では動かすことはまずできなかつたから。ところが墓についてみると既に墓石は転がされていた。もっと驚いたことに中に入って見ると、右側の部屋に安置されているはずのイエス様の遺体が無い。代わりに白い長い衣を着た若者が**右手に**座っていた。もうお分かりでしょう。この若者は右側の部屋の遺体を安置する石のベッド（5）の上に座っていたのです。イエス様の遺体が置かれていた石の台に。

若者は「驚くことはない。」とイエス様の復活を彼女達に告げました。しかし尋常な神経の持ち主なら驚かないではいられないでしょう。そこにあるはずの遺体が無いのですから。彼女達は、今風に言うならすっかりパニックしてしまいました。若者から「ペテロと弟子たちに告げなさい。『イエス様はガリラヤであなたがたを待っておられる。』」と言われましたが、彼女達は墓を出て**逃げ去り、震え上がり、正気を失った**のです。そして、**だれにも何も言わなかつた。恐ろしかつたからである。**

墓の中に立って私はその時の有様を想像しました。そして分かつたこと。彼女達は決して正気を失つたのではなく、まともだつたからこそ何も言わなかつた。言えなかつたのだ、と言う事が。墓参りに来て、自分が愛し、尊敬していた人の遺体がそこに無かつたら、誰だつて慌てふためいてしまいます。一体何が起つたのか理解できないでしょう。恐ろしくなつて逃げ帰るでしょう。

正に聖書は真実を告げているのです。空っぽの墓を見て彼女達が震え上がったことこそが、復活の証なのです。もしそのまま、その後もイエス様が彼女達の前に、また弟子達の前に現れなかつたら、彼女達はそのまま名も無き存在として彼女達の存在は聖書に書かれなかつたでしょう。いや、それどころか新約聖書其のものが書かれなかつたでしょう。

しかし後にマグダラのマリアは女性伝道者として初代教会を形成していきます。またヤコブの母（つまりイエスの母）も聖母として教会の人々に敬われていきます。サロメも聖者としてカトリックでは立てられています。

空の墓は空のまま終わったのではなく、そこに復活の奇跡が起つこり、そこからキリスト教の伝道の歴史が始まつた証です。

園の墓を訪れた時、ハーベスト・タイムの中川先生が面白いコメントを言われました。「空っぽの墓を見て、ハレルヤ！と喜ぶのはクリスチャンだけです！」

正に私達はこの空の墓に復活のイエス様を見出し感謝せずにはいられません。復活祭おめでとうございます。ハレルヤ！主に向かって讚美せよ！

吉松 純

## 日本語礼拝は毎週午後3時から礼拝堂で守っています。

- 4月 5日：礼拝、聖餐式、棕櫚の聖日、Jr. 教会 棕櫚を使った工作
- 12日：復活祭礼拝、Jr. 教会、イースターエッグ色付け、祝会（礼拝後、牧師館）
- 19日：礼拝、Jr. 教会、復活の意味を学ぶ
- 26日：礼拝、Jr. 教会、切手整理を通して途上国の人々のサポートをする。
- 5月 3日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会、子供の日の工作

### 報告：

- \* 去る3月25日、ユニオン神学校名誉教授で「水牛の神学」「時速5キロの神」などアジアの大神学者と呼ばれた小山晃佑博士が昇天されました。小山先生は著名な先生であるにもかかわらず、気さくで誰とでもお話される姿に感銘を受け、吉松牧師も先生から神学のみならず、その謙虚な姿勢に多くことを学びました。小山先生の魂の安らぎ、ご遺族の平安を心からお祈りいたします。

# UMC 日本語ミニストリー 受難週集会、復活祭の案内

## 受難週、復活祭礼拝スケジュール

- 4月 9日、聖木曜日礼拝（英語）：午後7時より。最後の晚餐に因み、過ぎ越しの食事を頂き、聖餐式礼拝を守ります。
- 4月10日、聖金曜日、テネブレイ（ろうそく消灯）礼拝（英語）：午後8時。
- 4月12日、復活祭礼拝：
1. Sunrise Service（夜明けの礼拝）、クーパーズ・ポンド（South Prospect Ave & West Church Street）にて他教会と合同・午前6時30分（英語）。
  2. 英語礼拝・午前10時30分。
  3. 日本語・午後3時より。Jr.教会はエッグ・ハント。日本語礼拝後、牧師館にて祝会（持ち寄り）と

\* 献金袋を同封致しました。献金は日本語伝道、子供達のプログラム、ニュースレター、他以下の活動にあてられます。御協力頂ければ幸いです。

\* サマーキャンプの為

\* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

\* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

\* ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。

\* パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記してください。